

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 27年 11月 27日

都道府県知事  
(市長)

殿

提出者

住所 竹田市久住町大字有氏665-4

氏名 農事組合法人 白原養豚場  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 代表理事 後藤隆志

090 2391 4228

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(農) 白原養豚場
事業場の所在地	竹田市久住町大字有氏665-4
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	農業
②事業の規模	豚 1200頭
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	糞は堆肥化し農地還元 尿は活性汚泥処理 死体は業者に委託

(日本工業規格 A列4番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長(廃棄物統括責任者兼担当)

- 廃棄物処理方針の決定
- 廃棄物処理に関する各種事項の決定承認
- 廃棄物処理計画の作成
- 委託契約の締結事務
- 産業廃棄物管理票の交付管理
- 行政等への各種報告

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成26年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	1600 t	6 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	1500 t	5.5 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (平成26 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	重力物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	600 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	500 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (平成26 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1000 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	重力物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1000 t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t                      t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t                      t
	(今後実施する予定の取組)	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成 26 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動物の死体
	全処理委託量	t                      6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t                      6 t
	再生利用業者への処理委託量	t                      t
	認定熱回収業者への処理委託量	t                      t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t                      t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		動物の死体
	全処理委託量	t	5.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	5.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
※事務処理欄			